

2024(令和6)年度  
会報

# 長崎県被爆者手帳友の会



2023年9月16日、福岡俘虜収容所第2分所犠牲者追悼・平和祈念式(香焼)

長崎県被爆者手帳友の会／ヒバクシャ・コミュニティ・センター

事務局

〒852-8118 長崎市松山町6-10 鈴木ビル1F  
TEL 095(849)1494 FAX 095(847)1970  
MAIL techotomonokai@gmail.com  
HP <https://feature.jp/hibakushaTecho/>





あ  
を

長崎  
県  
被爆者  
手帳友の会

新しき朝の光の

さしそむる

荒野に響け

長崎の鐘

カトリック信徒は原爆で崩れた教会の瓦礫の中からアンジェラスの鐘を掘り出し、浦上の丘から高らかに響かせました。

発行日:2024年6月9日  
発行者:長崎県被爆者手帳友の会  
会長 朝長万左男  
事務局長 林田慎一郎(編集)

## 目次

|  | ページ          |
|--|--------------|
| 1. 会長あいさつ .....                        | 朝長万左男..... 1 |
| 2. 副会長あいさつ ー私の平和活動ー.....               | 三田村静子..... 2 |
| 3. 2023 年度 活動報告 .....                  | 3            |
| ①九の日長崎の鐘打鐘 ②ともながまさおの原爆講話               |              |
| ③かわいきみあきの戦争講話 ④みたむらしずこの平和紙芝居           |              |
| ⑤グラウンドゼロコンサート                          |              |
| ⑥福岡俘虜収容所犠牲者追悼・平和祈念式 .....              | 4            |
| ⑦核兵器禁止条約の会・長崎                          |              |
| ⑧地球市民フェス(核兵器廃絶地球市民長崎集会)                |              |
| ⑨国内外の方々との平和交流                          |              |
| 4. ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト報告 .....            | 井原和洋..... 5  |
| 5. 追悼 野口伸一さん 6. 追悼 井黒キヨミさん.....        | 井原和洋..... 6  |
| 7. 友の会関係の新聞記事 .....                    | 7-10         |
| 8. 2023 年度 活動実績表 .....                 | 11-12        |
| 9. 2023 年度 決算報告書                       |              |
| ①一般会計 貸借対照表 ・ 収支計算書 ・ 財産目録 .....       | 13-14        |
| ②特別会計(ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト) 貸借対照表 ・ 収支計算書  |              |
| 監査報告書 ・ 会員数 ・ 役員名簿 ・ 二世・三世の事務局から ..... | 15           |
| 10. 2024 年度 事業計画 .....                 | 16           |
| 事業の内容 ・ 収支予算                           |              |
| 11. 二世・三世の事務局から .....                  | 17           |
| 12. 友の会事務局からのお願い                       |              |
| 会費納入のお願い                               |              |
| 長崎の鐘を鳴らしませんか？ 新規会員募集.....              | 18           |
| 長崎県被爆者手帳友の会 会則 .....                   | 19           |
| 総会参加のご案内 .....                         | 20           |

# 1. 会長あいさつ

朝長万左男

皆様、春先からの不安定な気候に悩まれ、健康管理にご苦労されて来られたと推察します。やっと15日に本当の五月晴れを觀まして、まだ季節の変化は保たれていると安心しました。



さて昨年は私の会長就任後4年にして、会として大きな海外活動を行うことが出来ました。11月7日の日本出発から20日帰国の丸14日間の長期米国ツアーとなりました。初めての企画で戸惑うことばかりでしたが、参加された友の会会員の皆様と2世3世の方々の団結によって計画通りの成果を収めてまいりました。英語のハンディを克服し、3都市21カ所の中学、高校、カレッジ、ユニバーシティ、教会などにおいて米国市民、生徒さん、学生さん、プロテスタント教会員、合計1,000名を超える人たちにわれわれの原爆体験を伝え、今後の核なき世界実現を目指して日米の市民で協働する将来の希望などの対話を実現して、まことに有意義な交流をもつことができました。報告書が出版されましたので、是非、お目通し下さい。

なかでも米国の若い世代を中心に核兵器の非人道性に関して理解が深まり、以前の日本を降伏させる兵器としての役割を重視した米国民の負の感情がだいぶ薄れて、将来を見つめ、いかにして核兵器を減らし、最後はついに核なき世界を実現するかに、関心が注がれるようになってきていることを、われわれも実感して帰国しました。これが一番大きな成果でした。これも皆様のご支援のたまもので、参加した団員一同深く感謝申し上げます。

しかし、会員の高齢化も進んでいます。友の会の活動をリードしてこられた早崎猪之助さんと井黒キヨミさん、そして野口伸一二世・三世の会代表が昨年から今年にかけて相次いで逝去され、会員一同大きな衝撃を受けました。お三方の核廃絶への強い思いを継承して、これからも我々自身が頑張ろうと決心しております。二世・三世の会も今後の活動をどのように展開していくか、引き続き皆様とご一緒に協議させていただきます。

財政面での課題や、日常の友の会の活動の範囲や内容をどのように変革していくのか、課題が山積しており、皆様のご意見をひろく頂けますよう、この場をお借りしてお願いする次第です。

今年もまた原爆祈念日の首相と被爆者4団体との懇談会が予定されておりますので、今週から、要望書の作成を分担執筆する作業を開始しました。また被爆地拡大地域の住民の被爆者としての認定が一日も早く実現することも目指しています。ご支援下さい。

我々の友の会も加入しております、核兵器禁止条約の会・長崎も本年で結成3年目を迎えるにあたり、核兵器国や日本の早期の署名を訴える声を高く上げることにしております。さらにわれわれもその一員である核兵器廃絶地球市民長崎集會も本年の11月22日～24日に長崎市で新しく誕生するジャパネットたかたの長崎スタジアムシティと協同して、地球市民フェスを開催する計画が、多くの若手市民活動家によって友の会のヒバクシャ・コミュニティ・センターを利用して、活発に企画の会議が行われています。これもご支援のほどよろしく御願います。



米国ツアーの2弾目をどのように計画するか、時期、団員数、予算などの検討を、第1弾目の最終報告集會(6月29日原爆資料館にてビデオ上映予定)終了後から本格化させることにしております。

さて、来年は原爆被爆から80周年の重要な節目を迎えます。友の会として記念事業の計画を立案するワーキンググループ(WG)を発足させます。長崎を最後の被爆地とするスローガンを掲げている長崎市の80周年記念活動の一翼を担うような企画をみんなで協力して立ち上げましょう。本年度の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

最後になりましたが、総会(6月19日予定)当日は友の会の前副会長の中村キクヨ様の満100歳のお祝いの会を同時に開催致します。キクヨさん、長い被爆者人生ご苦労様でした。健康と知力に恵まれ、友の会の最長老会員としてわれわれを導いて下さいました。ここに友の会は衷心から貴方の御長寿をお祝いするとともに、われわれにもその長寿のお裾分けを頂けますよう御願ひして、会長挨拶とさせていただきます。

## 2. 副会長あいさつ -私の平和活動-

三田村静子

私と平和活動との出会いは 29 年前の 1995 年、長崎の原爆被爆 50 周年の際、地元の生活協同組合の設立記念行事の参考にするため、鹿児島県の知覧特攻平和会館訪問研修に参加したことに始まります。

そこで、あの無謀な太平洋戦争で亡くなった 1,036 人の特攻隊の若者の遺影や遺書に接し、死を目前にした若者達の爽やかな表情に衝撃を受け、「彼等は何を訴えたかったのだろうか?」と思い、これが平和や命の大切さを考えるきっかけとなりました。これを機に、数人の仲間と平和公園周辺の案内を始め、現在では主に小中高校生を対象に被爆講話を行い、戦争の愚かさ、核兵器の怖さ、その非人道性、平和の大切さを訴えています。

先日、長崎県内の被爆者健康手帳の所持者が 2 万 6 千人弱との新聞報道がありました。今後、核兵器廃絶運動推進のためには、戦争の体験が無く、体験した存在が身近にいない世代への被爆体験継承が重要な課題ですが、これは広い視点から捉える必要があります。日本が安全保障面でも、エネルギー面でも核に依存している現状や、そこに至った経緯、今後の方向性などの視点が欠けた状態では、唯一の被爆国として核兵器廃絶の主張が他国に受け入れられるのは難しいと思います。まず戦争に至った歴史を学び直す必要があります。

2015 年元旦、当時天皇だった上皇陛下が戦後 70 年を迎えての感想として次のように述べられています。「この機会に、満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本のあり方を考えていくことが、今、極めて大切なことだと思っています」と。

私も講話をする際は、始めに、1931 年の柳条湖事件に始まる中国との 15 年戦争について触れるようにしています。

私が 被爆の実相を伝える方法として視覚に訴えるのが効果的と考え紙芝居の活用を始めた頃、活動仲間の一部には懐疑的な方もいましたが、その後、熱心な協力者となり、2007 年 6 月に有志の皆さんと「紙しばい会」を作り、長崎の被爆者を中心にした作品をご本人の了解の上作成し現在に至っています。私の活動の目的は、被爆の実相を伝えることで、特に若い世代に、核兵器は絶対悪であり、その怖さと平和な世界実現の大切さを知ってもらいたいと思っています。この活動は地道で小さなものですが、これが地球上から核兵器を無くすという大きな目標に少しでもつながれば、と願っています。



### 3. 2023 年度活動報告

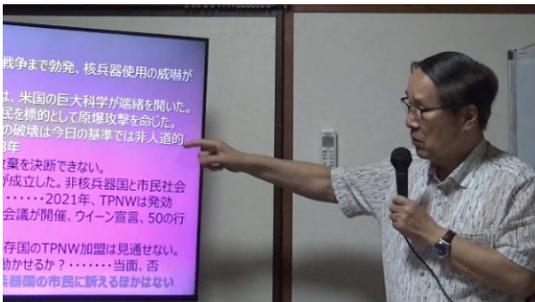
#### ●自主活動

##### ① 九の日長崎の鐘打鐘(毎月9日)

「友の会への入口」とも言うべき平和公園の「長崎の鐘」打鐘。1977 年に建立しその後市に寄贈しましたが、会として欠かさず打鐘は続けており、国際平和交流の場となっています。最近では毎月の九の日や8月の「長崎の鐘を鳴奏会」以外でも、様々な平和イベントの時や外国からの客人がみえた際に一緒に鳴らすことが増えてきました。23 年度は延べ 730 人の方々と共に、一日でも早く世界から戦争がなくなるようにと鳴らしました。初めて打鐘された方には記念に「長崎の鐘ポストカード」(右図)を差し上げています。



##### ② 「ともながまさおの原爆講話」(毎月 19 日 10 回シリーズ)



22 年 9 月から始めた朝長会長の原爆講話 10 回シリーズは 23 年 7 月に無事終了しました。放射線の基礎知識から始まり、なぜ被爆者は死ぬまで原爆症を背負い続けるのか、核兵器の非人道性、核なき世界への展望など、原爆に関する貴重な知識を得ることができました。

##### ③ 「かわいきみあきの戦争講話」(毎月 19 日 5 回シリーズ)

上記「原爆講話」に続き、23 年 9 月からは国際人道法に詳しい長崎大学核兵器廃絶センター(RECNA)の河合公明教授による「戦争講話」を 5 回シリーズで行いました。戦争の惨禍を繰り返さないための国際社会の努力や、その意義と課題を知り、戦争に対する見方を学ばせていただきました。



##### ④ みたむらしずこの平和紙芝居(毎月 29 日→第4日曜日)



22 年 9 月から始めた三田村さんの原爆紙芝居は今でも続いています。24 年 2 月からは「親子で見る平和紙芝居」として子ども達にも参加しやすいようにと日曜日に移動しましたが、子ども達もなかなか忙しいようです。ぜひ皆様もお声掛けください。

今後はもっと多くの方に観ていただきたいので、こちらから出向いて行く「出張紙芝居」も計画しています。

##### ⑤ グラウンド・ゼロ・コンサート(不定期)

22 年度は 5 回実施し、23 年度は 6 月に YuuTaRooO コンサートを実施しました。また 8 月 8-9 日で下の川でのキッズゲルニカ・コンサートを企画しましたが、台風のため中止しました。また企画します。



※①～⑤はすべて友の会 HP や YouTube(右 QR コード)でご覧いただけます。

## ●他団体との連携活動

### ⑥ 福岡俘虜収容所犠牲者追悼・平和祈念式

長崎市には香焼町に第2分所、幸町に第14分所の2つの連合軍の捕虜収容所がありました。2分所は井原東洋一前会長の尽力で慰霊碑を2015年に建立し除幕しました。続いて14分所の追悼碑を21年に建立しましたが、除幕式がコロナ禍で2年延期され、ようやく23年5月13日に実施されました。感動の除幕式となりました。



### 核兵器禁止条約の会・長崎

核兵器禁止条約(TPNW)は2017年7月7日に国連総会で採択され、21年1月22日に50か国の批准をもって発効しました。24年1月時点で70か国が批准しています。

長崎の被爆4団体・NGOは22年5月28日に核兵器禁止条約の会・長崎を結成し、毎年採択の日や発効の日には平和公園で記念の集いを行っています。



### ⑦ 地球市民フェス(核兵器廃絶地球市民長崎集会)

核兵器廃絶地球市民長崎集会(朝長万左男委員長)は、今年10月14日に開業する長崎スタジアムシティを会場に、6年ぶり7回目の「核兵器廃絶ー地球市民集会ナガサキ(地球市民フェス)」を11月22-24日に開きます。家族連れや若年層が気軽に足を運べるよう音楽ライブや展示・飲食ブースも取り入れ、延べ数万人規模の参加を目指します。



### ⑧ 国内外の方々との平和交流



◀4/3 スウェーデンから

5/12 オランダから▶



◀5/14 山里小から

7/29 フランスから▶



## 4. ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト報告

原爆投下、そして敗戦から今年で 79 年となります。被爆者・戦争体験者の高齢化が進んでいる今、「長崎県被爆者手帳友の会」では、被爆者の体験や核兵器の非人道性を改めて語り継ぎ、核兵器廃絶運動を前進させていくために、昨年 11 月、アメリカの市民に直接被爆者の声を届け、核廃絶運動の機運を高めることを目的として、被爆者ほか総勢 10 人で 2 週間にわたる「ホープ&ヒーリング・ツアー」を実施しました。

ツアー団長の朝長万左男友の会会長は、これまで多数の国際会議に出席した経験があり、原爆の非人道性、核被害の実相を長年訴え続けてきましたが、国連などの場所で、国の代表に向けて語ることが多く、一般市民との対話がこれまでなされてなかったのではないかと、との思いから以前より市民と直接対話する企画を温めておられました。そこで今回は、ノースカロライナ州ローリー、イリノイ州シカゴ、オレゴン州ポートランドの 3 都市で合計 21 回の集会を開き、被爆者の体験や若者たちに届けたい思いなどを伝えてきました。

今回は広く賛同者を募って、今後も活動を拡大し、継続していくために「ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト」と名付け、ツアーはその第 1 弾として位置づけました。

集会を開く都市の選定にあたっては、これまでのご縁もあり、ノースウエスタン大学宮崎広和教授(長崎市平和特派員)、広島平和文化センター元理事長スティーブン・リーパー氏、作家のスーザン・サザード氏、そしてオレゴン州の医師グループなど多彩な方々のご助言を頂き、最終的に 3 都市に決まりました。各都市の集会場所選定、参加者への呼びかけなどは、みなさんにコーディネートして頂きました。

参加者は、被爆者 3 名(朝長団長、三田村静子さん、宮田隆さん)、被爆 2 世 3 名(井原、永井徳三郎さん、大瀧知子さん)、被爆 3 世 2 名(山口雪乃さん、川端亜希さん)ほか撮影スタッフも含め総勢 10 名。

内容は、「原爆放射線の生涯持続性」(朝長万左男)、「原爆と共に生きて(紙芝居)」(三田村静子)、「平和への誓い」(宮田隆)、「祖父 永井隆」(永井徳三郎)、「KNOW NUKES TOKYO の活動」(山口雪乃)、そして渡航直前に体調不良により同行を断念された被爆者の増川雅一さん「私の被爆体験」(井原代読)などで、一回の集会は質疑応答を入れて 1 時間半～2 時間でした。

シカゴやポートランドでは医学生向けの集会もあり、その場合には約 1 時間の朝長団長の講演を行い、アメリカには「核の世界を終わらせる責任もある」と聴衆に訴えました。

かつて「アメリカ国民の命を救うために原爆は使われた」などと言われた時代とは違い、「核兵器は人類にとって脅威であり、人道的にも許されない兵器である」という認識を年齢にかかわらず数多くのアメリカ人が持っているという印象を受けました。しかし、核兵器をなくしてしまうこと、その方法については様々な意見がありました。78 年が過ぎた今でも原爆の後遺症があるという事実、そして生き残った被爆者の苦悩を知り、涙する聴衆もたくさんいらっしゃいました。

核兵器国であるアメリカのマスコミがほとんど取材に来なかったことは、核兵器禁止条約を広めていく上での課題の一つです。

渡航費の一部、ツアーの模様を記録したドキュメンタリーの製作・上映、次世代の育成・活動費などにも充てるためにクラウドファンディングも行い、目標金額 300 万円を達成いたしました。そのほかにも多くの方々に応援して頂き、多大なるご支援をいただいてこのツアーは実現しました。

友の会の方々のご支援をはじめ、アメリカでの集会で出会った様々な方々、このツアーを実現させるためにご尽力頂いたすべての方々とのコミュニケーション、たくさんの出会いと思いが一つとなって、無事にツアーを終えられたと思います。

平和への道のりはまだまだ遠く、目の前には険しい山々が連なっていますが、山を越えたところに、平和を願う仲間たちが待っていることを信じて、プロジェクトを続けていきます。(井原和洋)



## 5. 追悼 野口伸一さん 1947年7月18日生まれ

2024年3月19日 心不全のためご逝去。76歳

長崎県被爆者手帳友の会・二世・三世の会の代表であり、長崎県被爆二世の会の副代表も勤められていた野口伸一さんが亡くなりました。

野口さんは長年友の会の活動にご尽力なされ、毎月9日の長崎の打鐘に際しては、先頭に立って平和の鐘を鳴らし続けて来られました。

野口さんは、お母様が20歳の時、爆心地から5キロの長崎市戸町で被爆。お母様は2016年3月に90歳で亡くなりました。そして弟さんも26歳の時に急性白血病で亡くなりました。

私事ですが、私の父東洋一が九州電力に勤務していたため、同じ九州電力に入ってこられた野口さんは、組合活動などのキャンプで私が小学校3年くらいの頃からの付き合いでしたので、もう60年近く私たち兄弟を可愛がってくださいました。

父の選挙運動では必ず選挙カーのカラス(ウグイスの男版)をはじめ献身的に活動されておりました。定年退職された後はのんびり釣りをするんだと購入された船の話を楽しそうにお話しされておりました。

長女の堺真紀さんに聞くと、9日の日が来るとお父上を思い出されるそうです。先日四十九日を終えられ、真紀さんのご子息、康徳(やすのり)さんが友の会を訪ねてこられました。近々平和町に卵料理のお店「Sunny Luce」(サニールーチェ;太陽の光)というお店をオープンされます(週末のみ)。

野口さんの平和への思いを繋いでいきたいと、お孫さんの康徳さんは語っておられました。心よりご冥福をお祈りいたします。(井原和洋)



## 6. 追悼 井黒キヨミさん 1926年3月18日生まれ

2023年11月25日 急性心臓死のためご逝去。97歳

従姉から「伯母ちゃんが亡くなっていた!」と電話が入ったのは、昨年11/27の早朝のことでした。覚悟はしていたものの、「遂にこの時が来たのだ、、、」と力が抜け、半信半疑のまま、次の連絡を待ちました。「もう思い残すことはなか」と伯母は常々言っておりましたが、しっかり自分の足で歩く姿を見るにつけ、100歳までは元気でいてくれると思っておりました。

私が幼い頃からのいろいろな思い出がよみがえります。子供心にも伯母は大変苦労をしていることが感じられましたが、いつも明るく、お茶目で私たちに優しくしてくれていました。私が高校を卒業する頃に井黒義孝さんと結婚してからは、幸せな日々を送ることが出来たと日記に度々綴っておりました。

「私の人生」という自叙伝を出版したのは、2022年の1月でしたが、私が伯母のノートを手渡されたのは、入院していた伯母のお見舞いに、亡き父と弟と一緒にいったときのこと2018年の8月のことでした。「はい」と手渡された大学ノートに書かれていたのは、生まれたときから現在に至る、「井黒キヨミ」の人生でした。手渡されてから本にしようと、コツコツパソコンで打ち始めましたが、その間に新しく書いたノート3冊が追加で私の元に届けられました。伯母が元気なうちに出版できて本当に良かったと思います。

出版後の4月から、私は長崎に帰ってくることになり、伯母と一緒にいる時間が増えました。それと同時に、本の反響が大きかったのか、思いもよらない沢山の取材を受け、ラジオ・テレビ番組の出演、ダンス公演に取り上げられ、イギリスのBBCにまでインタビューを受けました。その間にも、伯母と一緒にいった京都旅行のことは忘れられません。そして、昨年10月28日に一緒に平和大行進に参加したのが最後となりました。11月21日にアメリカツアーから帰って来て、無事に帰ったことを電話で報告したら安堵の声で「おかえりなさい」と言ってくれました。

父が友の会の会長を務めることをきっかけに、伯母も友の会にお世話になりました。先日は「井黒キヨミ追悼展」もやっていただき、いろんな方にいらしていただきました。長い間本当にお世話になり、友の会の皆様には心より御礼を申しあげます。時々思い出していただくと幸いです。(井原和洋)



7. 友の会関係の新聞記事

時差を利用して世界一周リレー

時差を利用して世界一周リレーをするイベント「ラン・フォー・ユニティ」が7日、長崎市であり、約20人が海外とオンラインでつながり、平和のメッセージを発信した。

国や文化を超えて連携し、平和な世界を築くというカトリック系平和活動団体「フォー・ユニティ」の若者組織「ティーンズ・フォー・ユニティ」が主催。世界各国の子どもたちが午前11時正午に走り、時差を利用して24時間バトンをつないだ。長崎では県被爆者手帳友の会が初めて協力した。雨天のため、長崎では一

国や文化を超えて平和発信 長崎



世界平和を願い、「長崎の鐘」を鳴らす参加者  
長崎市 平和公園

部内容を変更。フィジーで始まり、ニューヨークレドニアからオンラインでバトンを受け取った参加者は、原爆が投下された時刻午前11時2分に合わせ平和公園で鐘を鳴らしたり、各国から寄贈されたモニユメントを使用したゲームなどを通して平和を願う姿を発信した。バトンはフィリピンへ渡された。

企画者の一人、吉田幸久さんは長崎だけでなく、世界で同じ思いを共有できたことは大きな意義があった」と語った。長崎大付属小3年の重久暖龍君(8)は「平和のことを考えて鐘を鳴らした」と誇らしげに話した。

(牧夕莉子)

▲5/7 長崎 ラン・フォー・ユニティ 世界一周リレー

「プチャを最後の虐殺の地」。スペイン・ゲルニカ、ウクライナ、被爆地長崎など世界5都市をつなぎ、大型絵画「キッズゲルニカ」を通して平和を訴えるイベントが26日、オンラインであった。長崎市から約30人が平和公園からメッセージを発信した。

この日はゲルニカ・トルモ市がドイツ軍による世界初の無差別爆撃を受け86年となる節目。ロシア軍による民間人虐殺があったウクライナのプチャ市が発案し、キッズゲルニカ・ウクライナの渡邊美代表(66)と静岡県在住の川島あまを都市を結び企画した。キッズゲルニカは、ピ

世界5都市つなぎ キッズゲルニカ

長崎「私のキーウ」歌唱



キッズゲルニカの前でメッセージを発信する参加者  
長崎市 平和公園

カソの反戦壁画「ゲルニカ」と同じサイズのキャンバスに描く国際的なアートプロジェクト。プチャ市では子どもたちが手がけたキッズゲルニカが発表され、ゲルニカ・トルモ市からは無差別爆撃の生存者の孫がメッセージを発信した。

長崎市では市内の学童保育クラブと高校が制作したキッズゲルニカ2枚を上げ、市立大浦小児童らでつくる長崎居留地キッズコーラスが「私のキーウ」をウクライナ語で歌った。同校4年の藤田望央さん(9)は「ウクライナで泣いている人や苦しんでいる人が笑顔になれるように歌えた」と話した。(牧夕莉子)

▲4/27 長崎 世界5都市つなぎ キッズゲルニカ

2023年(令和5年)5月20日(土曜日) 読売

核廃絶 新たな一歩



G7サミット開幕

長崎市長倉守照(左)は「期待している」と語り、平和記念資料館を訪れるG7首脳らに広島市の平和記念公園を案内する。長崎市長倉守照(左)は「期待している」と語り、平和記念資料館を訪れるG7首脳らに広島市の平和記念公園を案内する。

「悲劇二度と」被爆者ら願う

先導7か国首脳会議(G7サミット)が開幕した19日、県内の被爆者らは、G7首脳らが広島市の平和記念公園を訪れ、広島平和記念資料館に入る姿を自宅のテレビなどで見守った。「悲劇二度と繰り返さないように」。被爆地でのサミットが、核兵器廃絶への契機となすことを期待を寄せた。

(山田伸彦、上山敬之)

「長崎を最後の被爆地にしてほしい」と話す倉守さん

被爆者に残された時間は少ないと感じている。「被爆地訪問が単なるセレモニーで終わってはならない。核兵器廃絶に向けた確かな一歩となっていてほしい」。そう語っている。

73歳から原爆の記憶を伝える語り部として活動している長崎市の平の田中安次郎さん(80)も、G7サミットの議論の行方注目している。

3・4歳の時、爆心地から約3.4キロで被爆した。当時の状況をほとんど覚えていないが、強烈な光と爆風だけが記憶に残った。「あのような戦争を、また起こしては絶対に駄目だ」と強く願っている。

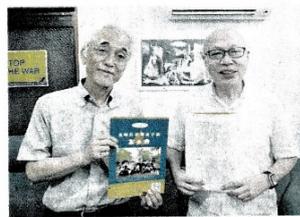
ウクライナを侵略するロシアが核兵器使用の威嚇を続ける中で開かれたサミットとなった。「G7の首脳らは、会議を通じて平和を追求するという原点に立ち返してほしい。広島での開催が将来的な核兵器廃絶に向けた方策につながればいい」と希望した。

▲5/20 読売 G7広島サミット 倉守さん

2023年(令和5年)7月13日(木曜日) 長崎

2世・3世や賛同者 加入を

県被爆者手帳友の会



賛助会員や被爆2世・3世の加入を呼びかける井原会長補佐(右)と林田事務局長  
長崎市松山町、ヒパクシヤ・コミュニティセンター

平和活動に市民が参加しやすい環境をつくらうと、県被爆者手帳友の会(副会長左男会長)は、被爆2世・3世や賛同者の加入を呼びかけた。現在は被爆者1228人、2世・3世253人、被爆体験者など41人の計522人。同会の林田慎一郎事務局長(67)によれば、現在会員数は年々減少し、今後の活動継続を危惧する声が上がっていた。

運動継続へ 初めて幅広く募集

募集するのは、賛助会員と2世・3世の会。主な活動は毎月の定例会、被爆者や各県の平和活動家との交流など。居住の指定はなく、誰でも参加できる。2世・3世の会は健康状態のアンケートや研修会、懇親会など、会員の意見を取り入れながら展開していく予定。

同会長補佐で、2世・3世の会事務局長の井原和洋さん(65)は「平和を言葉に、今まで活動していなかった人ともつながりたい。参加していただける形で活動してほしい。ぜひ声をかけてほしい。いずれも会費が必要。申し込み、問い合わせは同会(電話0955-8449・14944・メール→echotonokakai@gmail.com)へ」(牧夕莉子)

▲7/13 長崎 2世・3世や賛同者 加入を

# 原爆紙芝居 留学生が英訳

長崎外国語大のフランス出身の留学生3人が、県被爆者手帳友の会の三田村静子副会長(81)が自身の体験を基に作った原爆紙芝居を英訳するプロジェクトを進めている。核保有国の学生が翻訳を通して被爆の実相に触れ、理解を深めた。

## 長崎外国語大 仏出身の3人

**被爆78年**  
ナガサキ

友の会に協力を要請した3人は6月から同会が関わるイベントに参加。三田村さんと会員と交流しながら理解を深め、翻訳に取りかかった。母国語ではない英語での翻訳は難しく、日本人の友人の力を借りながら約15時間かけて紙芝居に書かれた文章を英訳。言いたいことが正しく伝わるよう、情景を想像しながら一つ一つの単語を選んだ。翻訳の過程で、核兵器に対する考え方も変化



三田村さん(左)の話を聞く(右から)ダベクさん、ルテリエさん、レイエマンビさん  
＝長崎市松山町、ヒバクシャ・コミュニティ・センター

## 県手帳友の会 三田村副会長の体験基に



「長崎の鐘」を鳴らす活動に参加する(後列右から)レイエマンビさん、ダベクさん、ルテリエさん(左から3人目)と三田村さん(左端)  
＝長崎市松山町、平和公園

が起きた。ルテリエさんは「今まで核兵器に反対ではなかったが意見が変わった。使うべきではない、禁止すべき」。レイエマンビさんは「学校やメディアで知ることが被爆者の話を聞くのは全く違った。何を見て何を感じ、どう怖かったかが伝わり、感情を揺さぶられた」と語り、被爆体験に心を動かされた様子だった。「長崎で学んだことをフランスに帰って友人に話すか。横山さんが尋ねると、ダベクさんはこう答えた。「意見が変わるかはその人次第だけど、戦争の影響や命の尊さなど、私が長崎で何を学んで何を感じ、どんな影響を受けたかは伝える」。紙芝居の英訳は今年29日午後1時半、長崎市松山町のヒバクシャ・コミュニティ・センターで披露する。入場無料。定員30人。申し込みは同会電095・849・1494。(牧夕莉子)

▲7/18 長崎 原爆紙芝居をフランス人留学生が英訳 ▼8/7 長崎 長崎の鐘 世界に響け

# 長崎の鐘 世界に響け



市民や観光客らが平和を願い鳴らした「長崎の鐘」  
＝長崎市、平和公園

市民団体「長崎の鐘を鳴奏会」は6日、長崎市松山町の平和公園で「長崎の鐘」を鳴らし、核兵器廃絶と世界平和を願った。9日まで毎日行う予定。

「長崎の鐘」は1977年に県被爆者手帳友の会と県動員学徒犠牲者の会が設置した。鳴奏会は手帳友の会、長崎平和推進協会、県宗教者懇話会、アジエンダNOVAなどが主催の4団体を中心につくり、2008年から、広島と長崎の原爆の日の時

期に合わせて鳴らしている。6日、長崎原爆投下時刻の午前11時2分、観光で訪れた子どもたちも交え、約20人がロープを引っ張り鐘の音を響かせた。その後10分おきに2回鳴らした。

手帳友の会の朝長万左男会長(80)は「世界に響かせて平和になるよう祈った。これからも声を上げて核保有国や世界の国々に平和を訴えていきたい」と語った。

(江川雅玖)



戦争と国際法の関係について語った河合氏  
＝長崎市、ヒバクシャ・コミュニティ・センター

# 「平和的解決」「武力行使禁止」解説

長崎大核兵器廃絶研究センター（RECN）アレクナ・副センター長の河合氏が、戦争と国際法について語った連続講話（全5回）が19日、長崎市松山町のヒバクシャ・コミュニティ・センターで始まった。初回は、全ての国に義務付けられている「紛争の平和的解決」と「武力行使の禁止」の考え方を解説した。河合氏は、基天な被害をもたらした第1次、第2次世界大戦の反省を踏まえ、

▲9/21 長崎  
かわいきみ  
あきの戦争  
講話

▶11/6 読売  
アメリカ証言  
ツアー計画

12/13 読売  
アメリカ証言  
ツアー報告

## レクナ河合氏 連続講話始まる

国際法が整備されていた経緯を紹介。その一つである「国連憲章」は条文で「国際紛争を平和的手段で解決しなければならない」と武力による威嚇または武力行使を禁じている。河合氏によると、この2点（国際法の中でも、法への拘束する「慣習国際法」に当たる）を、戦争を回避する最終手段とする「国

# 生の声 核大国の市民に



米国防務省の要請を語る朝長さん。「市民同士で事実を語り合いたい」と話した（10月18日、長崎市）＝長野浩一撮影

長崎の被爆者団体「長崎被爆者手帳の会」は、18日、代表団を米国に派遣し、核兵器廃絶に向けて被爆者の講話や市民意見交換を行う「ヒバクシャ・ツアー」プロジェクトを実施する。高橋浩一（タカハシヒロカズ）と朝長あき（Asanaka Akira）の2人が、海外大規模旅行の準備中、記者会見を開き、「この声が届くまで、手を離さず準備を進めていく」と話した。

伝えたい  
被爆者連米

## 長崎代表団「時間ない」



被爆者代表団の動き。日程は既述通り。日程は既述通り

米作家 谷口稜さんと出会い 関心  
米作家 谷口稜さんと出会い、関心を持った朝長あきさん。11月10日、長崎市で開かれた「読売アメリカ証言ツアー」の打ち合わせで、朝長さんと谷口さんの交流が話題になった。

谷口さんは、1986年、被爆者の朝長あきさんと出会い、関心を持った。朝長さんは、1986年、被爆者の朝長あきさんと出会い、関心を持った。朝長さんは、1986年、被爆者の朝長あきさんと出会い、関心を持った。

目撃した。朝長あきさんの証言が、世界に広がる。朝長あきさんの証言が、世界に広がる。朝長あきさんの証言が、世界に広がる。



「ヒバクシャを知っていますか」。米国の3都市を巡った「ヒバクシャ・プロジェクト」の一行が、11月、長崎に到着した。核兵器廃絶の機運を高めようと、被爆者の3世代と関係者が7月7日（約2週）間の旅を始めた。市民や学生らと対話、交流した。現地での様子や、参加した被爆者手帳の会長らと被爆者2世の井原和幸（Iwano Kazuyuki）氏らと対話した。同プロジェクトは、今後、被爆者や若い世代が核兵器のない世界を築いて活動するのを支援する。問い合わせ先は、CFP事業社「レイアウト」のウェブサイトで、同友の会（095・849・1194）。



アメリカへ向かうプロジェクトのメンバー（左端は井原さん、左から2人は朝長さん）（11月6日、長崎空港）



アメリカへ向かうプロジェクトのメンバー（左端は井原さん、左から2人は朝長さん）（11月6日、長崎空港）

# 核廃絶へ 米の旅路

「ヒバクシャを知っていますか」。米国の3都市を巡った「ヒバクシャ・プロジェクト」の一行が、11月、長崎に到着した。核兵器廃絶の機運を高めようと、被爆者の3世代と関係者が7月7日（約2週）間の旅を始めた。市民や学生らと対話、交流した。現地での様子や、参加した被爆者手帳の会長らと被爆者2世の井原和幸（Iwano Kazuyuki）氏らと対話した。同プロジェクトは、今後、被爆者や若い世代が核兵器のない世界を築いて活動するのを支援する。問い合わせ先は、CFP事業社「レイアウト」のウェブサイトで、同友の会（095・849・1194）。

「これが被爆者最後のつとめになると思う」。今回のツアーを率いる被爆者団体の朝長あき氏が、訪米を決意した理由を語った。朝長さんは、長崎空襲で亡くなった家族の遺骨を、米国に持ち帰りたいという思いで、米国に渡った。朝長さんは、長崎空襲で亡くなった家族の遺骨を、米国に持ち帰りたいという思いで、米国に渡った。

## 被爆1世「最後のつとめ」

「これが被爆者最後のつとめになると思う」。今回のツアーを率いる被爆者団体の朝長あき氏が、訪米を決意した理由を語った。朝長さんは、長崎空襲で亡くなった家族の遺骨を、米国に持ち帰りたいという思いで、米国に渡った。

2024年(令和6年)2月27日 火曜日 ローカル

### 長崎近郊・五島

## 「なぜ原爆がだめなのか」

被爆者の三田村野子さん(82)は、7月までの毎月第4日曜日に長崎市松山町のヒバクシャ・コミュニティ・センターで、原爆を題材にした紙芝居を上演する「親子で聞く平和紙芝居」の親子組を始めました。「なぜ原爆がだめなのか知ってほしい。親子で身近なところから平和を語ってもらえるようになれば」と、三田村さんは参加を呼びかけている。



長崎で7月まで

### 被爆者 三田村さん 紙芝居上演

紙芝居を披露する三田村さん(82)は「聞かないと知らない当時の状況がある」と改めて知った。三田村さんの優しい語り口で、大人にも子どもにも聞いてほしいと話した。

上演会は3月24日、4月28日、5月26日、6月23日、7月28日の午後1時～3時、同センターで開く。無料。問い合わせは県被爆者手帳友の会(☎095・849・1494)。(柴崎優衣)

紙芝居を披露する三田村さん  
 長崎市、ヒバクシャ・コミュニティ・センター

## 平和への活動 存続願う



被爆者の平均年齢が85歳を超え、高齢化が一層進んでいる。県内の被爆者4団体の一つで、1967年に発足した県被爆者手帳友の会は、最盛期に約5万人いた会員が2世もを含め約1300人になった。そうした中、7月で80歳になる同会顧問の中村キクヨさん(99)は、今も毎月9日に平和公園(長崎市)で、同会が寄贈した「長崎の鐘」を仲間と一緒に鳴らしている。1世紀を生きた中村さんに、会の歴史思いなどを聞いた。(坂口祐治)

「被爆したときの状況、庭先で洗濯物を干している時に被爆した。爆心地からは5・8時。近くにある砂浜には溺死の学生ら十数人が運ばれた」と話す。

「長崎市の平和祈念式典では、被爆者代表として「平和への誓い」(当時55歳)が白血病で亡くなった際、医師から「(白血病は)母体からもらった」と言われたことを初めて告白。戦後も続く被爆者の苦しみを訴えた。今も朝夕、位牌に手を合わせている。趣味は庭いじりや読書で、「次は大河ドラマの祭式部の本も読んでみたい」と話す。

### 県被爆者手帳友の会顧問 中村キクヨさん 99

「被爆者健康手帳を受け取るための方法が分からないという人が多く、申請手続きに関する相談をよく応じた。手帳が届くと、手を合わせて感謝されることもあった。『後』に立てて良かったな』といううれし感を感じた。

印象に残ったことは、「被爆者健康手帳を受け取るための方法が分からないという人が多く、申請手続きに関する相談をよく応じた。手帳が届くと、手を合わせて感謝されることもあった。『後』に立てて良かったな』といううれし感を感じた。

「活動に携わったことで、たくさんの方にお会いできた。今、会の仲間、長崎の鐘」を毎月つけることも最高の幸せ。被爆者は持っているが、2世の方の会員を増やして、平和に向けた活動を続けてほしい」と話した。

「ただ、95年に夫が入院したときは、会を休んで夫に付き添った。すると、『お前は友の会に行かなくてよいか』と、初めて活動を理解する言葉をかけてくれた。夫の支えがあったからこそ、今までやってこれたと思うている。『これからの会』とどんなことを望むか。

「活動に携わったことで、たくさんの方にお会いできた。今、会の仲間、長崎の鐘」を毎月つけることも最高の幸せ。被爆者は持っているが、2世の方の会員を増やして、平和に向けた活動を続けてほしい」と話した。

「ただ、95年に夫が入院したときは、会を休んで夫に付き添った。すると、『お前は友の会に行かなくてよいか』と、初めて活動を理解する言葉をかけてくれた。夫の支えがあったからこそ、今までやってこれたと思うている。『これからの会』とどんなことを望むか。

「活動に携わったことで、たくさんの方にお会いできた。今、会の仲間、長崎の鐘」を毎月つけることも最高の幸せ。被爆者は持っているが、2世の方の会員を増やして、平和に向けた活動を続けてほしい」と話した。

## 「敵意克服が核廃絶のヤマ場」



トークショーで映画の感想を語る朝長氏(左)と前嶋氏(右) 長崎市尾上町、ユナイテッド・シネマ長崎

### 長崎 朝長氏 トークショーで感想

映画では原爆開発を成功させたオッペンハイマー博士が被爆地の惨状を知って苦悩し、その後の水爆開発に反対する。クリストファー・ノーラン監督が手がけ、米アカデミー賞で作品賞など7冠を獲得した。試写会はヒタース・エンド主催、長崎新聞社共催。約1300人が来場した。トークショーで朝長氏は「核なき世界が遠くの現在の根本問題につながる映画。政治家の責任を迫る監督のメッセージを感じた」と評価。原爆被害の直接的な表現がないことは「弱点とも思うが、せりふでは何よりも、被爆の実相にショックを受けたことに触れられている」と述べた。

米国政治に詳しく上智大教授の前嶋和弘氏は「原爆に対して自省的、批判的な映画」との見解。原爆投下の正当化論が根強い米国では、数十年前なら作れなかった内容だとし、その後のテロや戦争を経験した中で「核を見詰まらざるを得ない、アメリカの変化の映画だ」と話した。(三代直矢)

### 映画 オッペンハイマー 試写会

米国の原爆開発を率いた物理学者を描いた映画「オッペンハイマー」の特別試写会が18日夜、長崎市内であった。被爆者で医師の朝長方左男氏は試写後のトークショーで、開発者の苦悩と広島、長崎への投下を決めた政治家との分断が表現されていると指摘。原爆使用の決断は大同士の敵意として人類に迫ってくるその敵意の克服が核廃絶の最大のヤマ場だと語った。

2/27 長崎 三田村さんの平和紙芝居

▲3/25 読売 中村キクヨさん 平和への活動 存続願う

◀3/20 長崎 朝長会長 オッペンハイマー試写会で感想

## 8. 2023 年度活動実績表

| 月  | 日  | 曜   | 主催等               | 項目                                      | 場所                  | 出席者         |
|----|----|-----|-------------------|---|---------------------|-------------|
| 4  | 9  | 日   | 友の会               | 長崎の鐘打鐘・慰霊式、定例会                          | 平和公園→友の会            | 60名打鐘、19名出席 |
|    | 11 | 火   | みんな総研             | 長崎市長選にむけて「みんなで政策かたらナイト」                 | HCC～Zoom            | 吉富氏         |
|    | 12 | 水   | 市民で作ろう            | 吉富博久を励ます決起集会                            | 松山平和運動公園            |             |
|    | 16 | 日   | 証言の会              | 森口貢さんを偲ぶ会                               | セントヒル長崎             |             |
|    | 19 | 水   | 友の会               | ともながまさおの原爆講話第8回                         | HCC                 |             |
|    | 26 | 水   | 県二世               | キッズゲルニカで世界5都市をつなぐ<br>全国Ⅱ世幹事会 27電話当番(井原) | 平和公園～Zoom           |             |
|    | 28 | 金   | 県                 | 県国際観光部被爆証言<br>早崎猪之助さん逝去 29通夜 30告別式      | 原爆資料館<br>平安社        | 井黒・三田村      |
|    | 29 | 土   | 友の会               | みたむらしずこの原爆紙芝居第7回                        | HCC                 |             |
| 5  | 7  | 日   | Teens4Unity       | ラン・フォー・ユニティ                             | 平和公園・HCC～Zoom       |             |
|    | 9  | 火   | 友の会               | 長崎の鐘打鐘・慰霊式、定例会                          | 平和公園→友の会            | 35名打鐘、17名出席 |
|    | 11 | 木   | 友の会<br>市          | 2022年度決算監査<br>政府要望の打ち合わせ会 第1回           | HCC<br>市役所9階        | 本村・住永・江頭    |
|    | 12 | 金   | 同委員会              | 福岡俘虜収容所第14分所犠牲者家族市内見学                   | 市内                  |             |
|    | 13 | 土   | 同委員会              | 同14分所慰霊碑除幕式・懇親会                         | 同慰霊碑・Hセントポール        |             |
|    | 21 | 日   | 阿含宗               | 世界の核被害者は問うオンライン                         | HCC～Zoom            |             |
|    | 29 | 月   | 友の会               | みたむらしずこの原爆紙芝居第8回                        | HCC                 |             |
| 6  | 9  | 金   | 友の会               | 長崎の鐘打鐘・慰霊式、定例会                          | 平和公園→友の会            | 40名打鐘、13名出席 |
|    | 14 | 水   | 市                 | 政府要望の打ち合わせ会 第2回                         | 市役所9階               | 朝長・林田       |
|    | 15 | 木   | 条約の会              | 核兵器禁止条約の会・長崎 事務局会議                      | 被災協                 |             |
|    | 18 | 日   | 友の会               | 通常総会                                    | 宝来軒                 |             |
|    | 19 | 月   | 友の会               | ともながまさおの原爆講話第9回                         | HCC                 |             |
|    | 20 | 火   | 奈良高校<br>県二世       | オンライン特別授業「放射線・平和教育」<br>総会               | HCC～Zoom<br>県福祉会館   | 江頭          |
|    | 29 | 木   | 友の会               | みたむらしずこの原爆紙芝居第9回                        | HCC                 |             |
| 7  | 2  | 日   | 地球市民<br>同上        | 核兵器廃絶地球市民長崎集会総会<br>ながさき平和大集会            | 原爆資料館2F<br>原爆資料館ホール |             |
|    | 7  | 金   | 条約の会              | 核兵器禁止条約発効6周年のつどい                        | 被災協地下講堂             |             |
|    | 8  | 土   |                   | 歌と平和のつどい in 長崎                          | 同上                  |             |
|    | 9  | 日   | 友の会               | 長崎の鐘打鐘・慰霊式、定例会                          | 平和公園→友の会            | 50名打鐘、25名出席 |
|    | 18 | 火   | 友の会               | アメリカ証言ツアー記者会見                           | 市記者会見室              |             |
|    | 19 | 水   | 友の会               | ともながまさおの原爆講話第10回                        | HCC                 |             |
|    | 29 | 土   | 友の会               | みたむらしずこの原爆紙芝居第10回                       | HCC                 |             |
| 8  | 6  | 日   | 実行委               | 長崎の鐘を鳴奏会・開会式～9日まで                       | 平和公園                | 238名打鐘      |
|    | 7  | 月   | 宗懇                | 宗教者による世界平和を願う対話交流の集い                    | マルシェ・ド・リッシュ         | 朝長          |
|    | 8  | 火   | 県二世<br>原水禁        | 被爆遺構巡り<br>ヒバクシャと語ろう                     | 市内<br>HCC           | 井原          |
|    | 9  | 水   | 市                 | 被爆78周年平和祈念式典                            | 出島メッセ               |             |
|    | 15 | 火   | 国                 | 全国戦没者追悼式参列                              | 日本武道館               | 三田村夫婦       |
|    | 22 | 火   |                   | 原爆資料館展示に関する講演と集会                        |                     |             |
|    | 24 | 木   | 条約の会              | 核兵器禁止条約の会・長崎 事務局会議                      |                     |             |
|    | 29 | 火   | 友の会               | みたむらしずこの原爆紙芝居第11回                       | HCC                 |             |
| 9  | 1  | 金   | 県二世               | 幹事会                                     |                     | 井原          |
|    | 9  | 土   | 友の会               | 長崎の鐘打鐘・慰霊式、定例会                          | 平和公園→友の会            | 53名打鐘、19名出席 |
|    | 11 | 月   | 地球市民              | 地球市民集会WG会議                              | HCC                 |             |
|    | 15 | 金   | 2分所委              | 福岡俘虜収容所第2分所犠牲者家族市内見学                    | 市内                  | オランダ人など11名  |
|    | 16 | 土   | 2分所委              | 福岡俘虜収容所第2分所犠牲者追悼平和祈念式                   | 香焼                  |             |
|    | 19 | 火   | 友の会               | かわいきみあきの戦争講話第1回                         | HCC                 |             |
|    | 21 | 木   | 友の会               | 国際平和デーに長崎の鐘を鳴奏会                         | 平和公園                |             |
|    | 23 | 土   | 友の会               | 二世・三世・賛助会員総会                            | HCC                 |             |
| 29 | 金  | 友の会 | みたむらしずこの原爆紙芝居第12回 | HCC                                     |                     |             |

|    |    |      |             |   |                    |             |
|----|----|------|-------------|---|--------------------|-------------|
| 10 | 9  | 月    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式 定例会                                      | 平和公園→友の会           | 40名打鐘、14名出席 |
|    | 16 | 月    | 条約の会        | 核兵器禁止条約長崎事務局会議                                      | 被災協                |             |
|    | 19 | 木    | 友の会         | かわいきみあきの戦争講話第2回                                     | HCC                |             |
|    | 28 | 土    | 地球市民        | 市民大行進   | 平和祈念像前～爆心地公園       |             |
|    | 29 | 日    | 友の会<br>条約の会 | みたむらしずこの原爆紙芝居第13回<br>核兵器 今なくさなければ～シミュレーションが示す核戦争の脅威 | HCC<br>新興善メモリアルホール | 鈴木氏講演       |
| 11 | 6  | 月    | HMP         | Hibakusha Hope & Healing Tour                       | 米ローリー・シカゴ・ポートランド   | 10名参加       |
|    | 9  | 月    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式 定例会                                      | 平和公園→友の会           | 35名打鐘、12名出席 |
|    | 19 | 日    | 友の会         | かわいきみあきの戦争講話第3回                                     | HCC                |             |
|    | 21 | 火    | 条約の会        | 核兵器禁止条約長崎事務局会議                                      | 被災協                |             |
|    | 29 | 金    | 友の会         | みたむらしずこの原爆紙芝居第14回                                   | HCC                |             |
| 12 | 8  | 金    | 賢人会議        | 市民社会との意見交換会   | 祈念館交流ラウンジ          |             |
|    | 9  | 土    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式 定例会                                      | 平和公園→友の会           | 25名打鐘、14名出席 |
|    | 11 | 月    | 条約の会        | 核兵器禁止条約長崎事務局会議                                      | 被災協                |             |
|    |    |      | 地球市民        | 地球市民集会WG会議  | HCC                |             |
|    | 12 | 火    | 県二世         | 幹事会   | 自治労                |             |
|    | 19 | 火    | 友の会         | かわいきみあきの戦争講話第4回                                     | HCC                |             |
|    | 22 | 金    | HMP         | Hibakusha Hope & Healing Tour 帰国報告会                 | 原爆資料館ホール           |             |
| 1  | 9  | 火    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式 定例会                                      | 平和公園→友の会           | 24名打鐘、17名出席 |
|    | 11 | 木    | 条約の会        | 核兵器禁止条約の会・長崎事務局会議                                   | 被災協                |             |
|    | 19 | 金    | 友の会         | かわいきみあきの戦争講話第5回                                     | HCC                |             |
|    | 21 | 日    |             | メリッサ・パーク氏 長崎の鐘打鐘 爆心地献花                              | 平和公園               |             |
|    | 22 | 月    | 条約の会        | 核兵器禁止条約発効3周年のつどい                                    | 平和祈念像前             |             |
|    | 29 | 月    | 友の会         | みたむらしずこの原爆紙芝居第15回                                   | HCC                |             |
| 2  | 9  | 金    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式 定例会                                      | 平和公園→友の会           | 25名打鐘、17名出席 |
|    | 22 | 木    | 県二世         | 被爆二世の会電話相談  | 自治労会館              | 江頭          |
|    | 25 | 日    | 友の会         | みたむらしずこの平和紙芝居                                       | HCC                |             |
|    | 29 | 木    | 県二世         | 被爆二世集団訴訟控訴審判決                                       | 福岡高裁               | 井原          |
| 3  | 1  | 金    |             | ロシア国営テレビ(RTD)取材 朝長診療風景                              |                    |             |
|    | 2  | 土    |             | 同取材 長崎の鐘打鐘、三田村紙芝居                                   | 平和公園→友の会           |             |
|    | 9  | 金    | 友の会         | 長崎の鐘打鐘・慰霊式・定例会                                      | 平和公園→友の会           | 38名打鐘、11名出席 |
|    | 14 | 木    | 条約の会        | 米パックスクリスティメンバー謝罪に                                   | 被災協                |             |
|    |    |      | 県二世         | 第8回幹事会・電話当番   |                    | 井原          |
|    | 19 | 火    | 地球市民        | 地球市民集会WG会議  | HCC                |             |
|    | 20 | 水    | 県二世         | 被爆二世集団訴訟上告後集会                                       | 地区労                |             |
|    | 24 | 日    | 友の会         | みたむらしずこの親子で見る平和紙芝居                                  | HCC                |             |
| 30 | 土  | 地球市民 | 地球市民長崎集会総会  | 原爆資料館   |                    |             |

●友の会のイベントの告知や実施後のアーカイブ動画はインターネットでご覧ください。

ホームページ <https://feature.jp/hibakushaTecho/>

YouTube <https://tinyurl.com/26qqtq9u>

Facebook <https://tinyurl.com/22pqvqwa>



Homepage



YouTube



facebook

# 9. 2023 年度 決算報告書

## ①一般会計

### 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

| 科目          | 金額         |            |
|-------------|------------|------------|
| I 資産の部      |            |            |
| 1. 流動資産     |            |            |
| 現金          | 269,195    |            |
| 郵便振替(学徒)    | 90,228     |            |
| 郵便振替(友の会)   | 4,846,550  |            |
| 郵便貯金        | 17,004     |            |
| 十八親和銀行      | 6,339,637  |            |
| 流動資産合計      |            | 11,562,614 |
| 2. その他の固定資産 |            |            |
| 投資有価証券      | 11,680,996 |            |
| その他の固定資産計   |            | 11,680,996 |
| 資産合計        |            | 23,243,610 |
| II 正味財産の部   |            |            |
| 1. 流動資産     |            |            |
| 前期正味資産      | 23,813,237 |            |
| 当期損益        | ▲ 564,627  |            |
| 正味財産合計      |            | 23,248,610 |
| 負債及び正味資産合計  |            | 23,248,610 |

### 収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日

(単位：円)

| 支出の部          |           | 収入の部        |           |
|---------------|-----------|-------------|-----------|
| 科目            | 金額        | 科目          | 金額        |
| 1. 人件費        | 1,023,831 | 1. 事業収入     | 4,760,375 |
| 給与手当          | 720,000   | (1) 会費      | 1,391,769 |
| 通勤費           | 300,000   | 被爆者         | 1,160,134 |
| 法定福利費         | 3,831     | ・三世         | 156,935   |
| 2. 事業費        | 3,859,313 | 学徒動員        | 2,000     |
| 旅費交通費         | 90,503    | 被爆体験者       | 32,500    |
| 通信運搬費         | 324,165   | 賛助会員        | 40,200    |
| 消耗品費          | 648,680   | (2) 雑収入     | 2,141,899 |
| 印刷製本費         | 319,000   | 県・市補助金      | 389,000   |
| 光熱水道費         | 119,081   | 寄付金         | 1,250,000 |
| 賃借料           | 1,815,960 | 献金          | 167,216   |
| 保険料           | 15,200    | 自販機売上       | 228,742   |
| 諸会費           | 100,000   | 貸室料         | 40,260    |
| (原水禁30千円ほか7社) |           | 物品販売代       | 34,906    |
| 会議費           | 298,315   | 印刷代         | 31,775    |
| 雑費            | 128,409   | (3) 有価証券配当金 | 1,226,707 |
| 1. + 2. 支出計   | 4,883,144 | 2. 営業外収入    | 56        |
| 3. 当期損益       | ▲ 564,627 | 受取利息        | 56        |
| 当期収支損益        | ▲ 122,713 |             |           |
| 投資有価証券評価損     | ▲ 441,914 |             |           |
| 合計            | 4,760,431 | 合計          | 4,760,431 |

## 財産目録

2024年3月31日 現在

(単位：円)

| 項 目        | 種 類                  | 金 額        |
|------------|----------------------|------------|
| 1. 現 金     | 手許資金                 | 269,195    |
| 2. 預 金     | 郵便振替 (学徒動員)          | 90,228     |
|            | 郵便振替 (友の会)           | 4,846,550  |
|            | 郵便預金 (長崎北郵便局)        | 17,004     |
|            | 普通預金 (十八親和銀行大学病院前支店) | 6,339,637  |
| 3. 外 国 債 券 | SMBC日興証券 (評価額)       | 11,680,996 |
| 合 計        |                      | 23,243,610 |

### ②特別会計(ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト)

#### 貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目        | 金 額       |           |           |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部     |           |           |           |
| 1. 流動資産    |           |           |           |
| 十八親和銀行     | 1,075,647 |           |           |
| 流動資産合計     |           | 1,075,647 |           |
| 資産合計       |           |           | 1,075,647 |
| II 正味財産の部  |           |           |           |
| 1. 流動資産    |           |           |           |
| 前期正味資産     | 0         |           |           |
| 当期損益       | 1,075,647 |           |           |
| 正味財産合計     |           | 1,075,647 |           |
| 負債及び正味資産合計 |           |           | 1,075,647 |

#### 収 支 計 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日

(単位：円)

| 支出の部           |            | 収入の部           |            |
|----------------|------------|----------------|------------|
| 科 目            | 金 額        | 科 目            | 金 額        |
| 長崎県被爆者手帳友の会返済  | 1,500,000  | 関係者・団体 寄付・補助   | 4,477,620  |
| 人 件 費          | 50,550     | 長崎県被爆者手帳友の会立替金 | 1,500,000  |
| 旅 費 交 通 費      | 4,202,239  | クラウドファンディング    | 3,730,956  |
| 通 信 運 搬 費      | 271,461    | 参 加 者          | 400,000    |
| 保 険 料 費        | 49,922     | アメリカからの寄付      | 580,000    |
| 会 議 費          | 11,338     | 渡 航 費 戻 り      | 68,210     |
| 宿 泊 費          | 1,152,871  |                |            |
| 食 費            | 556,384    |                |            |
| 雑 費            | 13,828     |                |            |
| クラウドファンディング手数料 | 631,686    |                |            |
| クラウドファンディング返礼  | 557,008    |                |            |
| ドキュメンタリー委託料    | 683,852    |                |            |
| プロジェクト報告会経費    | 1,075,647  |                |            |
| 合 計            | 10,756,786 | 合 計            | 10,756,786 |

## 監 査 報 告 書

私達は、監査役として令和5年4月1日から令和6年3月31日までの一般及び特別会計の会計帳簿並びに関係証拠書類を監査しました結果正確であることを認めます。

令和6年5月1日  
長崎県被爆者手帳友の会

監査役 本村チヨ子

監査役 住永俊之

監査役 江頭玲子



## 会員数・納入者 増減

| 会員種   | 在籍者     |         |     | 会費納入者   |         |      | 会費納入率   |         |      |
|-------|---------|---------|-----|---------|---------|------|---------|---------|------|
|       | 2023年度末 | 2022年度末 | 増減  | 2023年度末 | 2022年度末 | 増減   | 2023年度末 | 2022年度末 | 増減   |
| 被爆者   | 1,136   | 1,220   | -84 | 322     | 416     | -94  | 28%     | 34%     | -6%  |
| 二・三世  | 268     | 253     | 15  | 93      | 86      | 7    | 35%     | 34%     | 1%   |
| 学徒動員  | 6       | 8       | -2  | 1       | 1       | 0    | 17%     | 13%     | 4%   |
| 被爆体験者 | 39      | 37      | 2   | 36      | 36      | 0    | 92%     | 97%     | -5%  |
| 賛助    | 18      | 4       | 14  | 15      | 6       | 9    | 83%     | 150%    | -67% |
| 計     | 1,467   | 1,522   | -55 | 467     | 627     | -160 | 32%     | 41%     | -9%  |

## 役員名簿

|  |  |                                |
|--|--|--------------------------------|
| 1. 会長 朝長 万左男                             | 4. 常任理事 倉守 照美<br>山崎 健二<br>深堀 兼治<br>北村 照一<br>野口 晃<br>久松 利明<br>※新任 中村 住代 | 5. 会長補佐 井原 和洋<br>事務局長 林田慎一郎    |
| 2. 顧問 山本 敬一<br>中村 キクヨ                    |  | 6. 監査役 本村チヨ子<br>住永 俊之<br>江頭 玲子 |
| 3. 副会長 三田村 静子<br>金原 明善<br>船山 重俊<br>田中 守治 |  |                                |

※早崎猪之助、野口伸一は逝去、高井良明、吉原俊恵は体調により退任されました。

## 10. 2024 年度 事業計画

| 事業の名称         | 実施年月日<br>(期間)              | 場所       | 事業の内容   | 参加予定<br>延人員 |
|---------------|----------------------------|----------|---|-------------|
| 長崎の鐘打鐘        | 毎月9日<br>8/6-9<br>9/21 ほか   | 平和公園     | 毎月九の日、8月の長崎の鐘を鳴奏会ほか、国際平和デーなど平和の記念日に「長崎の鐘」を市民と共に鳴らします  | 750         |
| 定例会           | 毎月9日                       | 事務所      | 毎月九の日打鐘の後に事務所に集まり情報交換と懇親を行います   | 200         |
| 会報送付          | 6月                         | 事務所から会員へ | 全会員へ前年度の事業報告・決算、当年度の事業計画・予算、会費案内などを送付します  | 12          |
| 総会            | 6月19日                      | 宝来軒      | 会員の重要事項を役員などが決議します  | 30          |
| 平和式典参列        | 8月9日                       | 平和公園     | 平和祈念式典に参列し献水・献花などを行います。他の被爆団体と役割分担しています   | 12          |
| 平和活動など        | 都度<br>地球市民フェスは<br>11/22-24 | 都度       | 原爆に関する講演、紙芝居、コンサート<br>福岡俘虜収容所犠牲者追悼平和祈念式<br>核兵器禁止条約の会・長崎とのコラボ<br>核兵器廃絶地球市民長崎集会とのコラボ<br>その他、市民による平和活動 | 必要人数        |
| 二世・三世・賛助会員の活動 | 都度                         | 都度       | 県二世の会の活動支援ほか  | 必要人数        |
| 被爆体験者の活動支援    | 都度                         | 都度       | 被爆体験者の活動支援  | 必要人数        |

## 2024 年度 収支予算

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

(単位：円)

| 支出の部     |            | 収入の部      |           |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1 . 人件費  | 1,024,000  | 1 . 事業収入  | 3,676,000 |
| 給与手当     | 720,000    | 一般会費      | 1,000,000 |
| 通勤費      | 300,000    | 二世会費      | 160,000   |
| 法定福利費    | 4,000      | 学徒会費      | 2,000     |
|          |            | 被爆体験者     | 30,000    |
| 2 . 事業費  | 3,549,000  | 賛助会員      | 50,000    |
| 旅費交通費    | 90,000     |           | 0         |
| 通信運搬費    | 320,000    | 雑収入       | 1,234,000 |
| 消耗品費     | 500,000    | 有価証券配当金   | 1,200,000 |
| 印刷製本費    | 300,000    |           |           |
| 光熱水道費    | 120,000    | 2 . 営業外収入 | 100       |
| 賃借料      | 1,684,000  | 受取利息      | 100       |
| 保険料      | 15,000     |           |           |
| 諸会費      | 100,000    |           |           |
| 会議費      | 300,000    |           |           |
| 雑費       | 120,000    |           |           |
| 3 . 当期損益 | ▲1,346,940 |           |           |
| 合計       | 3,676,060  | 合計        | 3,676,060 |

## 11. 二世・三世の事務局から

毎月9の日の打鐘では先頭に立って鐘を鳴らし続けて来られた二世・三世の会代表の野口伸一さんが3月に亡くなりました。被爆者の高齢化の話はずいぶん前から出ていましたが、被爆二世にも高齢化の波が押し寄せていることをあらためて感じさせられました。これまで当たり前のように組織や会が続けられて来た時代は終わり、二世・三世はいかに未来に向かって活動を継続していくのか、何を活動の目標としていくのか、また継続するための資金などはどうするのか、さまざまな問題が目の前に山積みです。



昨年友の会はヒバクシャ・ミライ・プロジェクトを立ち上げて、第1弾としてアメリカツアーを行いました。二世として参加した中で感じられた事は、被爆の実相を市民にあらためて伝え、被爆者の体験、知見を語り継ぎ、地球市民として核兵器廃絶を訴え続ける事が必要であると言う事です。核兵器問題は環境問題でもあります。わたしたちには自分ごととして「核も戦争もない、そして美しい地球をこどもたちへ！」を合言葉に、二世、三世の垣根も越えて、広く市民たちと連帯しながらプロジェクトを続けて行きます。(井原和洋)

## 12. 友の会事務局からのお願い

皆様いかがお過ごしでしょうか。長崎県被爆者手帳友の会の2024年度会報をお届けします。この会報は年1回、会員全員にお送りしています。

### 会費納入のお願い

最盛期は約5万人いらした会員が現在は1,500人を切るほどに激減しております。会の運営のためにぜひ、皆様から会費のご納入をよろしくお願ひします。

|     |       |          |
|-----|-------|----------|
| ●会費 | 被爆者   | 2,800円   |
|     | 二世・三世 | 2,000円   |
|     | 被爆体験者 | 1,000円   |
|     | 賛助会員  | 2,000円以上 |

#### ●お支払い方法

郵便払込：口座番号 01830-9-3384 長崎県被爆者手帳友の会

※「払込取扱票」を同封しています

よろしければ年齢もご記入ください。参考にさせていただきます。

銀行振込：十八親和銀行 大学病院前支店 普通 55245

名義 ナガサキケンヒバクシャテチョウトモノカイ

現金納入：下記総会時もしくは事務局にご持参ください

## 毎月9日の11:02に長崎の鐘を鳴らしませんか？

どなたでも歓迎です。平和公園にいらした方と一緒に鳴らしています。

### ●アクセス

路面電車を使う場合は平和公園で下車し、松山町交差点から、長崎の鐘へは平和公園を上って2分。ヒバクシャ・コミュニティ・センターへは浦上天主堂方面へ歩いて1分。

松山郵便局の3軒隣です。駐車場はありません。近隣の有料パーキングをご利用ください。



### 新規会員募集

長崎県被爆者手帳友の会では随時、会員を募集しています  
被爆者として被爆証言や情報交換をされたい方、被爆二世・三世として継承活動をされたい方、友の会の趣旨に賛同される方は勿論、少しだけ興味がある方など、どなたでも結構です。

ご希望の方は、お電話(095-849-1494)いただくか、ヒバクシャ・コミュニティ・センターにお気軽にお立ち寄りください。

# 長崎県被爆者手帳友の会 会則 [綱領]

第1条 本会は長崎県被爆者手帳友の会と称し、事務局を長崎市松山町 6-10 鈴木ビル 1F に置くこととする。

第2条 本会は、下記の事業を目的とする。

- (1) 国家補償の原則を求め、被爆者援護法の充実を目指す。
- (2) 被爆者の相互扶助、親睦を図り明るい市民生活を送ることを促進する。
- (3) 被爆者の社会的、経済的地位の確立を目指し努力する。
- (4) 被爆二世・三世の運動に積極的に取り組む。
- (5) 被爆体験者の運動を支援する。

第3条 本会は次の者で構成する。

- (1) 被爆者健康手帳を持っている人。
- (2) 原爆により肉親を死亡させた人。
- (3) 本会の趣旨に賛同し、本会に献身的な奉仕をする人。なお、加入者は理事会の承認を必要とする。

第4条 本会は下記の役員をおく。

- (1) 会長／1名・副会長／若干名・会計監査／3名・事務局長／1名・被爆二世・三世代表／1名・被爆二世・三世事務局長／1名・常任理事・理事／若干名
- (2) 本会に相談役／若干名をおくことができる。

第5条 役員は下記の方法により選出するものとする。

- (1) 会長、副会長、会計監査は、総会で選出する。
- (2) 事務局長、被爆二世・三世代表・事務局長、常任理事・理事、相談役は会長が推薦し、代表者会で承認する。
- (3) 理事の定数は原則として支部に1名とし、支部長と兼務することができる。また、連合支部の理事定数は3名以内とする。
- (4) 常任理事は理事の互選により選出し本会の執行にあたる。
- (5) 役員任期は2年とし、再任を防げない。

第6条 本会に下記の決議機関をおくこととする。

- (1) 総会は年1回招集し、最高の決議機関であって、予算、決算、事業報告、事業計画、役員改選、会則改廃を議決する。ただし、代表者会は役員と支部長で構成し、総会に変えることができる。
- (2) 理事会は総会につぐ決議機関とする。
- (3) 総会、代表者会、理事会は出席者の過半数をもって議決する。

第7条 本会は必要な地域支部を作ることができる。支部規約は本部規約に準ずるものとする。

- (1) 支部は原則として3名以上の会員でもって作ることができ、さらに、3支部以上でもって連合支部を作ることができる。
- (2) 支部及び連合支部への還元金は各々500円とし、支部運営に資することとする。また、被爆二世・三世の支部及び連合支部への還元金は200円とする。

第8条 本会の収入は下記の方法によることとする。

- (1) 被爆者手帳友の会会員の会費は年額2,800円とする。
- (2) 被爆二世・三世の会員の会費は年額2,000円とする。
- (3) 被爆体験者会員の会費は年額1,000円とする。
- (4) 本会の趣旨に賛同する人より寄付金を受けることができる。
- (5) 県、市、町等の公共団体より助成金を受けることができる。

第9条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日で終わることとする。

第10条 本会則は昭和42年6月18日より発効し、総会の議決により改正することができる。

(中略)

・令和4年度に一部を改正し、令和4年7月9日から実施することとする。(第8条の(2))

長崎県被爆者手帳友の会

## 2024 年度総会 参加のご案内

今年は、会員になられている方全員に総会への参加をご案内します。  
ご都合を合わせてぜひ、ご参加ください。新規入会も歓迎です。

- 日 時： 2024 年 **6月 19 日(水)10:30** 受付  
11:00~12:00 総会 12:15~14:00 食事・懇親会
- 会 場： セントヒル長崎(長崎市筑後町4-10)
- 参加費： 3,000 円 受付でお支払ください

※参加されたい方は **6月8日までに 電話・FAX・メール**のどれかでお知らせください

FAXの場合は裏表紙に申込用紙を付けていますのでご利用ください。

### 交通のご案内

Access



街の中心の小高い丘に立地する エキゾチックなホテル。観光やビジネスに最適です。

### 駐車場のご案内

JR長崎駅前から徒歩で約8分

最寄の電停：桜町電停より徒歩で約5分

長崎空港よりタクシーで約50分・バスで55分 (JR長崎駅まで)

長崎自動車道 長崎ICより車で5分

【駐車場名】 パークステーション筑後町(セントヒル長崎)

ホテルまで徒歩3分の離れた所にあり、坂道を少し登っていただきます。

【台 数】 21台

【注意事項】 コインパーキングのため下記の通り駐車料金が発生致します。

100円/30分(夜19時~8時 100円/60分)

長崎県被爆者手帳友の会 行き  
FAX 095-847-1970

6/19 総会に 出席 ・ 欠席 します

※どちらかを○で囲んでください

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 会 員 種 別         | ・ 被爆者 ・ 二世 ・ 三世 ・ 四世 ・ 賛助 |
| ふ り が な<br>氏 名  |                           |
| 年 齢             | 西暦 年 月 日 ( )歳             |
| 住 所             | 〒                         |
| 連 絡 先           | 電 話:<br><br>メー ル:         |
| 出席の場合の<br>同 伴 者 |                           |
| 欠席の場合の<br>委 任 者 |                           |
| メ モ             |                           |

※6/8までにご返信ください